

ホワイトハンドコーラス NIPPON展

第３回 やなせたかし文化賞 受賞者展 Part4

YANASE TAKASHI CULTURAL AWARD



2026 12.16（水）▶ 2027 2.8（月）

9:30~17:00（最終入館16:30） 火曜休館 ※ただし、2026年12月24日（木）~2027年1月7日（木）は無休

［会場］ 香美市立やなせたかし記念館 詩とメルヘン絵本館

［入館料］ 大人1,200円/中高生500円/小人（3歳以上）300円

［主催］ 公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団

［後援］ 高知県教育委員会/高知県市町村教育委員会連合会/香美市/香美市教育委員会/朝日新聞高知総局/毎日新聞高知支局/読売新聞高知支局/高知新聞社/RKC高知放送/KSSさんさんテレビ/KUTVテレビ高知/NHK高知放送局/エフエム高知

香美市立
やなせたかし記念館
アンパンマンミュージアム＆詩とメルヘン絵本館

〒781-4212 高知県香美市香北町美良布1224-2
☎0887-59-2300
https://anpanman-museum.net

YANASE TAKASHI CULTURAL AWARD
PRIZE WINNERS EXHIBITION

2025年2月6日に発表した「第3回やなせたかし文化賞」受賞者5組の活動や作品をリレー形式でご紹介していく展覧会の第4弾。本展では、日本国内だけでなく海外へも活動の幅を広げるインクルーシブ合唱団ホワイトハンドコーラスNIPPONをご紹介します。インクルーシブには「包括的」「すべてを含む」等の意味があり、ホワイトハンドコーラスNIPPONでは障がいの有無や経済状況に関わらず、誰もが参加し、学び、音楽を奏でることができます。東京、京都を拠点に小学校低学年の子どもから社会人まで100名近くのメンバーが所属し、歌うことが好きな子は声を使い、手話が得意な子は白い手袋をしてうたうことから「ホワイトハンドコーラス」と呼ばれます。

本展では、ベートーヴェンが晩年まったく耳が聴こえないながらも書きあげたとされる交響曲第9番「歓喜の歌」をテーマに、合唱とともに手話の表現で歌う様子を光の軌跡によってあらわした写真展「第九のきせき」をご紹介。また、隆起印刷により光の軌跡の凹凸を「触れる写真」として作品化したものや、点字楽譜、パフォーマンス時に使用する白手袋の実物を展示します。あわせて、ホワイトハンドコーラスNIPPONのメンバーが制作したコラージュほか、歌詞の単語を手話に直訳する「手話ソング」とは異なり、歌詞から感じる情景も込めて翻訳した「手歌(しゅか)」によるパフォーマンス映像をご覧いただきます。ホワイトハンドコーラスNIPPONによる可能性にあふれた未来世代への芸術創造を「みて」「きいて」「さわって」さまざまなアプローチから体感してください。

やなせたかし文化賞とは

「アンパンマン」シリーズの作者として知られるやなせたかしは、晩年まで代表作に恵まれず不遇の時代が長かった作家ですが、それに屈することなく、漫画家・詩人・作詞家・イラストレーター・絵本作家など、マルチクリエイターとして活躍しました。「やなせたかし文化賞」は同氏の遺言により設立され、"第2のやなせたかし"のような将来一層の活躍が期待される個人や団体を発掘し顕彰・奨励することで、子どものための芸術文化の向上と振興に資することを目的としています。

「第3回やなせたかし文化賞」受賞者

大賞	リト@葉っぱ切り絵(葉っぱ切り絵アーティスト) 大賞展は終了しましたが、高知県のご当地葉っぱ作品ほか数点を引き続き展示します。
やなせたかし文化賞	いわいとしお／岩井俊雄(絵本作家・メディアアーティスト) きくちちき(絵本作家) 鈴木まもる(画家・絵本作家・鳥の巣研究家) ホワイトハンドコーラスNIPPON(インクルーシブ合唱団)

第3回やなせたかし文化賞 受賞者展 Part5
いわいとしお展　2027年4月17日(土)～6月7日(月)(予定)

関連イベント

フォトセッション　参加費無料・申込不要

※別途やなせたかし記念館入館券が必要です。
※先着順。定員に達し次第受付を終了します。

ホワイトハンドコーラスNIPPONのベートーヴェン「第九」への取り組みから生まれた「第九のきせき」プロジェクト写真創作にモデルとして参加できます。手話で「喜び」を表現する姿をLED入りの手袋とともに、写真家・田頭真理子氏が撮影します。

《日時》2026年12月20日(日)午前の部 10:30～11:30／午後の部 13:00～14:00
《会場》香美市立やなせたかし記念館　別館
《定員》30組(個人参加可)

スペシャルコンサート　入場料無料・申込不要

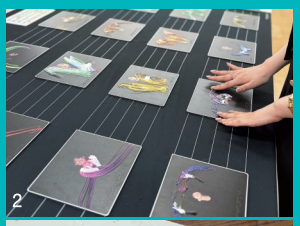
東京、京都を拠点として活躍する総勢30名のホワイトハンドコーラスNIPPONメンバーによるパフォーマンスを披露いただきます。声隊とサイン隊が織り成す唯一無二のハーモニーをぜひ会場でご覧ください。

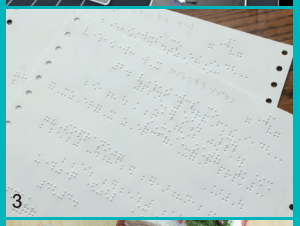
《日時》2027年1月31日(日)14:00～14:40
《会場》高知県立高知追手前高等学校 芸術ホール

コンサートは同日開催の「第4回やなせたかし文化賞」シンポジウム第二部として実施します。(いずれも予約不要・入場料無料)
第一部　13:30～14:00　「第4回やなせたかし文化賞」選定委員トークセッション
第二部　14:00～14:40　ホワイトハンドコーラスNIPPON　スペシャルコンサート
第三部　14:50～15:30　「キンダーブック100周年展」関連イベント
　　フレーベル館キンダーブック編集部トークセッション

ホワイトハンドコーラスNIPPON











ろう者、難聴、全盲、弱視、車いすユーザーを含むすべての子どもに開かれたインクルーシブな合唱団。南米ベネズエラで始まった、誰もが平等に音楽教育を受けることができる社会活動「エル・システマ」の理念を起源とし2020年に活動を開始。障がいの有無や経済的な状況に関わらず、無償で参加し学ぶことができる。手話の表現で歌う(手歌)サイン隊と声で歌う声隊がともに奏で、ひとつの音楽の世界をつくる。

1.写真展「第九のきせき」より『Freude!』 2.写真展「第九のきせき」より触れる写真『FUGA　Tactile』 3.『ひざっこぞうのうた」点字楽譜　4,5.ホワイトハンドコーラスNIPPON応援キャラクター「ミルとキクとポッシボ」を用いたメンバー制作作品
(写真はいずれも©Mariko Tagashira)



©Mariko Tagashira

コロンえりか

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学、英国王立音楽院修士課程卒業。2019年東京国際声楽コンクールにてグランプリ・歌曲両部門で優勝。国内外で演奏活動を行う。キングレコードより「BRIDGE」をリリース。ホワイトハンドコーラスNIPPONの芸術監督として音楽による社会インクルージョンを目指した活動で25年バンクミケルセン記念賞などを受賞。NHK番組の監修や出演も多数。音楽祭の企画監修や国際学会での発表や講演も精力的に行っている。4児の母。



田頭真理子

広島県尾道市出身。写真家・立木義浩氏に師事。広告写真をはじめ、音楽家、研究者、経営者、政治家など、幅広い分野の人物を撮影。エル・システマや震災被災地の取材を通じて、人々の奥底から湧き上がるエネルギーをテーマに撮影を続ける。2021年には、ホワイトハンドコーラスとの出会いを機に、ベートーヴェン「歓喜の歌」をテーマにした「第九のきせき」の制作を開始。同作品で第1回SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞「芸術部門」を受賞。



©やなせたかし／やなせスタジオ



[交通案内]高知中心部より車で約60分／高知龍馬空港より車で約40分／高知自動車道「南国IC」より車で約35分／JR土讃線・土佐山田駅よりJRバスで約25分(バス停「美良布(アンパンマンミュージアム)」下車徒歩5分

香美市立
やなせたかし記念館
アンパンマンミュージアム & 詩とメルヘン絵本館

〒781-4212 高知県香美市香北町美良布1224-2　TEL.0887-59-2300
https://anpanman-museum.net